

第27回 神奈川県弁護士会人権賞 受賞決定者

1	NPO 法人 アルペなんみんセンター	略歴	<p>2020年2月 NPO法人アルペなんみんセンター設立。</p> <p>2020年4月 鎌倉市内の元修道院において、難民受け入れ施設として活動開始。</p>
		表彰事項	<p>難民に対する手厚い自立支援及び地域社会と連携した難民と共生する社会づくりのための積極的な啓発活動。</p>
		推薦理由	<p>スタッフが常駐のもと難民が安心して共同生活を送ることができるシェルターを提供しており、このような施設は日本ではアルペなんみんセンターのみである。このような施設において自立のための日本語学習支援などを行っているほか、地域住民・地域社会との積極的な交流により難民と共生する社会づくりに向けた啓発活動に積極的に取り組んでいる。</p>
2	森政 忠雄	略歴	<p>1945年8月 国民学校6年生の時、学校校舎内で被爆</p> <p>2002年 銀行を定年退職</p> <p>2005年 被爆60周年の年、「戦争と被爆の悲惨さ・平和と命の尊さ」をテーマに承継活動を開始</p> <p>2009年 川崎市折鶴の会会長就任</p> <p>2021年5月 被爆経験をもとにした児童書「聞かせて、おじいちゃん原爆の語り部・森政忠雄さんの決意」が発行される。</p> <p>2022年6月 児童書「聞かせて、おじいちゃん原爆の語り部・森政忠雄さんの決意」が第55回「夏休みの本」(緑陰図書)の指定を受ける。</p>
		表彰事項	<p>川崎市折鶴の会代表として、核兵器のない世界を目指した活動をしているほか、個人的にも川崎市外で学校や行政機関などの要請で被爆体験の語り部活動をしていること</p>
		推薦理由	<p>戦後80年が迫り、戦争体験を語る人が少なくなっている中、自身の経験を後世に伝えるという重大な責務を果たしているため、人権賞候補者に推薦する。</p>